

平成29年度 全道少年(U-12)8人制サッカー大会  
兼第14回 JA全農杯チビリンピック小学生 8人制サッカー大会北海道予選

開 催 要 項

- 1 主旨 少年サッカーの発展と育成を目指し、かつ交流を図るとともに8人制サッカーの底辺拡大に努める。
- 2 名称 平成29年度 全道少年(U-12)8人制サッカー大会  
兼第14回 JA全農杯チビリンピック小学生 8人制サッカー大会北海道予選
- 3 主催 (公財)北海道サッカー協会 日刊スポーツ新聞社
- 4 主管 函館地区サッカー協会
- 5 後援 (公財)日本サッカー協会
- 6 特別協賛 全国農業協同組合連合会(JA全農)
- 7 協賛 ホクレン農業協同組合連合会
- 8 期日 平成29年4月8日(土) 9:00～ 監督会議  
9:30～ 開会式  
10:15～ 1回戦・2回戦  
9日(日) 9:00～ 準決勝・決勝  
12:00 閉会式
- 9 会場 函館フットボールパーク(人口芝コート)
- 10 参加資格
  - ① 参加チームは2017年度(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。ただし、2016年度(H28年)に実施した本大会の地区予選をU-11選手で勝ち抜き、別に定める地区割り当てにより所轄の地区協会が代表と認めたチームであること。
  - ② 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただし、U-6選手の参加は認めないものとする。
  - ③ 第4種年代の女子選手については、「クラブ申請」を承認された同一「クラブ」内のほかのチームから選手を参加させることも可能とする。
  - ④ 「参加チーム」は各地区の代表となったチームとする。
  - ④ 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること、また、内1名以上が本協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。
  - ⑤ 参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。
  - ⑥ 「参加チーム」は必ず『傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険)等』に加入していること。
- 11 参加チーム数 各地区協会より参加できるチーム数は次の通りとする。計16チーム。  
札幌2 函館1 旭川1 釧路1 根室1 小樽1 空知1 北空知1 十勝1  
千歳1 網走1 室蘭1 苫小牧1 (道北/宗谷)1 ※道北と宗谷でプレーオフ  
開催地1(今年度は函館地区)
- 12 競技規則 公益財団法人日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。  
但し、詳細に関しては本大会用として競技方法に定める。
- 13 競技方法 ① 16チームによるトーナメント戦とする。

② 競技のフィールド

- ・フィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)50mとする。
- ・ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。
- ・その他ペナルティエリア等の長さに関しては8人制サッカールールに準ずる。

④ 試合球 公認球(少年用4号球)を使用する。

⑤ 競技者の数および交代

- ・1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
- ・登録できる交代要員および交代の最大人数は12名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
- ・ただし、同一選手の出場は最大で2ピリオドまでとし、3ピリオドすべてに出場することは不可とする。
- ・ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- ・延長戦については前後半で同一の選手の出場を可とする。(自由な交代を適応)

⑥ 競技者の用具

- ・競技者の用具については、公益財団法人日本サッカー協会「サッカー競技規則」およびユニフォーム規定に従うものとする。必ず正副2色のユニフォームを用意する。
- ・選手番号については「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。
- ・ユニフォームの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものとする。

⑦ テクニカルエリア

テクニカルエリアは設置しない。ただし、監督またはコーチ・ベンチ役員が判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などのネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に、再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降はベンチからのコーチングは不可とする。

⑧ 審判員

- ・1人の主審と補助審判が指名される。

⑨ 試合時間

- ・試合時間は12分ー12分ー5分ー12分 の3ピリオド制とし、インターバルを5分とする。第1ピリオド、第2ピリオドは選手を総入れ替えとし、第3ピリオドは交代自由とする。
- ・第3ピリオドのサイドはコインズで決定し、約半分が経過したタイミングでサイドをチェンジする。タイミングは審判に委ねる。再開方法はキックオフとする。
- ・規定の時間内に勝敗が決しない場合は、3人ずつのPK方式で勝者となるチームを決定する。試合終了時に出場している選手で行う。準決勝と決勝では3分ー3分の延長戦を行い、なお決しないときは3人ずつのPK方式で勝者となるチームを決定する。(延長戦に入る前のインターバルは10分とする)
- ・3位決定戦は行わない。

① 本大会の予選は懲罰規定上の同一の競技会とみなし、予選終了時で退場・退席による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。

② 本大会は、本協会「懲罰規定」に則り、大会規律委員会を設ける。

③ 本大会の規律委員会委員長は(公財)北海道サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。

④ 本大会期間中において警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。

- ⑤ ・本大会において退場を命じられた競技者は、自動的に本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置については規律委員会において決定する。  
・競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- ⑥ ・本大会諸規定および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

15 参加料

大会参加料21,600円

16 参加申し込み

- ① 参加チームは所定の用紙をEメールで所属地区協会事務局まで送付すること。  
(地区サッカー協会経由で(公財)北海道サッカー協会に送付)  
・参加申込書  
・プライバシーポリシー同意書
- ② 親権者同意書は捺印の上、(公財)北海道サッカー協会宛に郵送すること。  
※提出期限はすべて3月23日(木)17時必着とする

【申込先A】 (公財)北海道サッカー協会

〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41  
北海道フットボールセンター内  
TEL 011-825-1100 FAX 011-825-1101

【申込先B】 函館地区サッカー協会

〒041-0851 函館市本通2丁目56-7  
函館地区サッカー協会 事務局 長谷川 敦也 気付  
TEL 0138-55-3141 FAX 0138-55-3188  
E-mail: atsuya@ms2.ncv.ne.jp

【参加料納入口座】 銀行名 みちのく銀行 湯川支店

口座名 函館サッカー協会会計 会長新山英二 (ニイヤマ エイジ)

口座番号 (普通預金) 5111404

参加申込書には選手16名以上20名まで、指導者4名までの氏名を記入すること。

17 組合せ

平成29年3月24日(金) (公財)北海道サッカー協会において行う。  
※組合せは(公財)北海道サッカー協会HPの「大会情報・4種」で確認すること

18 帯同審判

- ① 出場チームは(公財)日本サッカー協会公認審判員(3級以上)を必ず帯同させること。帯同する審判員の氏名、資格等を参加申込書に記載すること。
- ② 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。ベンチ入り指導者が審判員を兼ねる場合は審判を優先しなければならない。また、監督は帯同審判を兼ねることはできない。

19 選手証

- ① 「参加選手」は(公財)日本サッカー協会発行の選手証(写真貼付したもの)を持参すること。ただし、電子登録証(写真が登録されたもの)が確認できる場合は出場を認めるものとする。

20 選手変更

- ① 選手変更・追加登録は、所属の地区を通じEメールにて(公財)北海道サッカー協会および主管協会に届出のこと。提出期限はすべて平成29年3月24日(金)17時必着とする。

21 監督会議

平成29年4月8日(土) 9時00分より 函館フットボールパーク2F 多目的会議室において行う。監督は必ず出席のこと。欠席の場合は本大会への参加を停止することもある。

22 開会式

平成29年4月8日(土) 9時30分より函館フットボールパークにおいて行う。選手・監督は全員参加すること。参加しない選手は大会への参加を停止することもある。

23 閉会式

平成29年4月9日(日) 決勝戦終了後、函館フットボールパークにおいて行う。準決勝まで残ったチームの選手・監督は全員参加することを原則とする。

24 その他

- ① 優勝 賞状・メダル・副賞 準優勝 賞状・メダル 3位 賞状・メダル

- ② 選手資格に関し、その他不都合な行為があった場合そのチームの出場を停止する。
- ③ 宿泊等の斡旋は特に行わない。
- ④ 優勝チームは平成29年5月3日、4日、5日に横浜で開催される全国決勝大会（JA全農チビリンピック2017）への参加を義務付ける。（参加費用については主催者が負担する）
- ⑤ 優勝チームは道協会ホームページで写真入で紹介する。
- ⑥ 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合には本大会実施委員会（主管地区理事長、競技委員長、審判委員長等で構成）において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。

以 上